

天竜川西鹿島地区河川利用推進事業 ～コマツナギ～（国土交通省 浜松河川国道事務所）

コマツナギについて

【科】マメ 【種】コマツナギ

①コマツナギとは

枝豆やサヤエンドウと同じマメ科の植物です。草の高さは、大きいものだと150cmを越しますが、一般的には50cm～80cmです。

コマツナギには以下のような特徴があります。

- ① 乾燥に強い
- ② 高温に強い
- ③ 日当たりのいい場所に生える
- ④ 他の植物との競争に弱い



③コマツナギの生育場所

コマツナギは、河原や水に近い荒地に生育しています。



コマツナギの生育する河原



コマツナギの生育する荒地

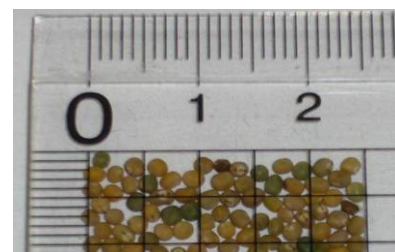
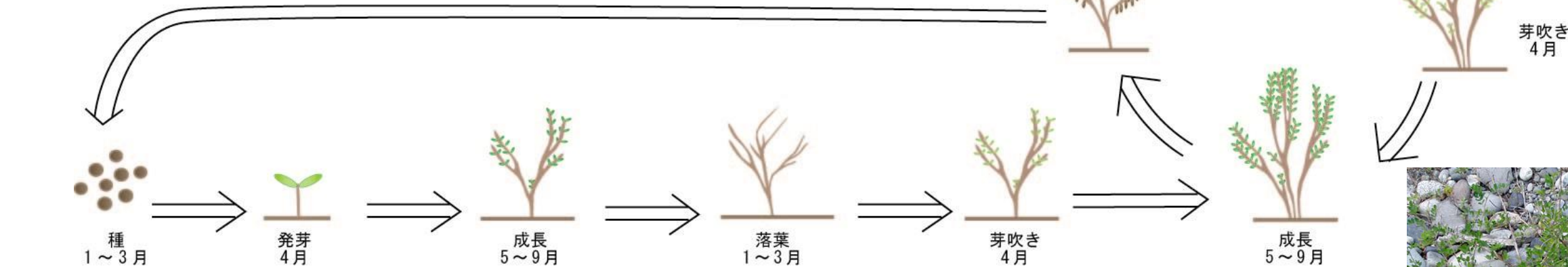
②コマツナギの生態

コマツナギは、種から発芽した後、秋まで成長して冬には落葉します。コマツナギは、草ではなく木であるため、落葉後も幹は残ります。翌年の春に幹から芽吹き、また成長をします。そしてミヤマシジミが利用できる大きさになるには、発芽後2～3年が必要です。

ミヤマシジミが利用できる大きさになったコマツナギは、ミヤマシジミが毎年利用することができます。



豆果をつけたコマツナギ



2mm程度の種子

コマツナギの生活サイクル



生育したコマツナギ